

産業課の目標（平成 22 年度）自己評価書

産業課長 京 増 孝 一

達成度：H23.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1. 農業の振興と連携の強化（農政振興班）</p> <p>効率的・安定的な農業が営めるよう、担い手の育成・農家の経営向上に努めるとともに、農村環境整備等や地域資源を活かした特産物づくりへの取組を支援します。</p> <p>また、農地の有効活用を図るため、耕作放棄地の再生利用の推進に努めます。</p> <p>①効率的・安定的な水田農業の確立</p> <p>水田農業の確立として、戸別所得補償制度の導入により、意欲のある農業者が農業の継続できる環境を整え、農業の有する多面的機能が将来にわたって適性かつ十分に発揮できるよう、地方農政事務所、県、農業協同組合、農業共済組合等の関係機関と連携を図り、平成 23 年度の戸別所得補償制度の本格実施に向けて、農業者に対して戸別補償制度の周知に努める。</p> <p>また、町産地づくり推進交付金により、戸別所得補償制度への誘導と併せて良質な米の生産の支援に努める。</p> <p>②畑作営農の経営支援</p> <p>朝市、JA 直売、園芸組合等の支援を行い、消費者ニーズにあった作物の生産を推進し、千産千消に努める。また、地元で取れた新鮮野菜をより多く給食センターの使用材料として提供できるよう支援する。</p> <p>③担い手の育成</p> <p>農業従事者の高齢化に伴い次代を担う農業者を確保するため、認定農業対象者に対して、認定農業者制度のメリットを PRするとともに、経営改善・規模拡大のための機械・施設などの導入の支援を行います。</p>	4	<p>J A 成田市（農産物等直売組合）・朝市組合・味だより・根古谷環境保全会や土地改良区などの関係団体と連携協力を図り事業の推進に取り組んだ。（ふるさとまつり、浦安市との交流、浦安市民まつり参加、商工会夏まつりなど）</p> <p>戸別所得補償制度の本格実施に向けその周知に努めた。（モデル事業等に 15 農家の参加）また、生産調整協力者などに産地づくり推進対策奨励補助金を交付した。（54 農家）</p> <p>国営印旛沼二期土地改良事業については、1月12日事業が確定したことから、将来負担に備え基金を設置し、積立を行った。</p> <p>墨笠原地区土地改良事業が実施した揚水ポンプの調査事業に対し補助金を交付した。</p> <p>認定農業対象者などに制度の説明などを行い推進した。</p> <p>市民農園の利用促進を図った。</p>

<p>④農産物加工販売の育成支援 町の新鮮な農産物を活かした加工販売を奨励し、町の資源を活かした特産品づくりや加工品の開発や販売の実現に向けての支援を行います。</p> <p>⑤農村（集落）環境の整備と農地保全 ・国営印旛沼二期土地改良事業の推進と、農村環境の向上対策である農地・水・環境保全事業の推進に努めます。</p> <p>⑥耕作放棄地の再生利用 耕作放棄地所在実態調査に基づき、町内に点在する耕作放棄地の再生利用に向けた 推進計画策定と事業の推進に努めるとともに、市民農園の整備拡充などにより、耕作放棄地の有効利用と整備保全に努めます。</p>		
<p>2. 商工業・観光の振興（商工観光班）</p> <p>①商工業の振興 商工会の経営支援事業を継続し、積極的な活動に支援を行います。</p> <p>②地域観光資源の活用 観光振興を推進するため、観光マップの増刷、町ホームページの観光情報の充実及び地域資源の活用を図ります。 また、特産品のお酒、酒々井ブランドとしてお米や農産物等を町主催のイベントをはじめ、さまざまな機会を通じ、町内外へのPR等に努めます。</p> <p>③地域産業振興による財政基盤の強化推進 酒々井インターチェンジの設置（平成24年度末完成予定）による波及効果をまちづくり全体に活かし、安定した財政基盤を築くために、優良企業の誘致や交流人口の増加による産業活動の活性化を図るとともに、雇用の場を確保拡大し、地域経済の活性化を推進します。 都市再生機構が施行している酒々井南部土地区画整理事業（平成24年度末完成予定）の推進に協力支援するとともに一般地権者の土地の有効活用の推進にも協力</p>	<p>4</p>	<p>商工会との連携を図り商工会事業に対する支援を行った。また 商工会、JA成田市・朝市組合・味だより・根古谷環境保全会などの関係団体と連携し、事業やイベントの開催及び他市町村などのイベントに参加しPRを行った。 観光マップの見直し増刷、HP の観光情報の充実を図った。 墨工業団地に(株)エフケイ、JR酒々井駅西口に(株)せんどうが立地することとなった。南部地区については、一括譲渡から分割譲渡・賃借も可能となるようURは、方針を変更し、再公募を行った結果「チェルシージャパン株式会社」と事業用定期借地権設定契約が締結された。</p>

支援します。

また、墨工業団地内の未利用地については、自社操業等企業立地の推進を図ります。

3. 施設の管理運営

①ちびっこ天国（商工観光班）

酒々井ちびっこ天国の運営については、住民サービスの向上及び経費の削減を図るため指定管理者制度を導入しています。平成22年度から2期目となり、健康づくり事業は自主事業となりましたが、指定管理者との連携を図り、より多くの方々に利用いただける施設づくりに努めます。

②コミュニティプラザ

より多くの方々に利用いただける施設運営に努めるとともに、1階ロビーについては、引き続き各種団体等の展示PRのスペースとして提供します。

③ハーブガーデン（コミュニティプラザ・商工観光班）

ハーブガーデンについては、観光施設及び癒しの空間としてやすらぎのひとときを感じてもらえるよう施設の適切な管理運営に努めます。

④生涯生活センター（農政振興班）

生涯生活センターについては、みそづくり、筍や落花生などの缶詰づくりなど、技術と知識を習得し、併せてグループ学習や情報交換・仲間作りの場として利用しやすい施設の管理運営に努めます。

産業課のチャレンジ目標

農家・商工業関係者のみなさんとともに、酒々井の安心安全で美味しい農産物や加工品の生産及びPRに取り組むとともに、優良企業の誘致、商工業の振興を図り、元気なまちづくりを推進します。

4

ちびっこ天国については、指定管理者セントラルスポーツグループにより運営され、プール事業については、町に譲渡後、最高の入園者となった。

ハーブガーデンについては、スタッフ一丸となって運営に取り組んでいただいた。また、平成22年度からコミュニティプラザが一体的に管理することとした。

コミュニティプラザ、生涯生活センターについては適切な管理運営に努めた。

商工会、JA成田市・朝市組合・味だより・根古谷環境保全会などの関係団体と連携し、事業やイベントの開催及び他市町村などのイベントに参加しPRを行った。

墨工業団地に(株)エフケイ、JR酒々井駅西口に(株)せんだうが立地することとなった。南部地区については、一括譲渡から分割譲渡・賃借も可能となるようURは、方針を変更し、再公募を行った結果「チエルシージャパン株式会社」と事業用定期借地権設定契約が締結された。